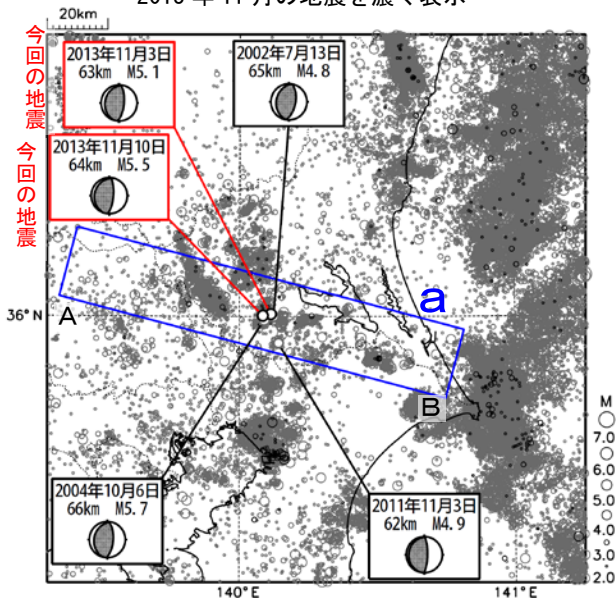


# 11月3日、10日 茨城県南部の地震

震央分布図※  
(1997年10月1日～2013年11月30日、  
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$ )  
2013年11月の地震を濃く表示

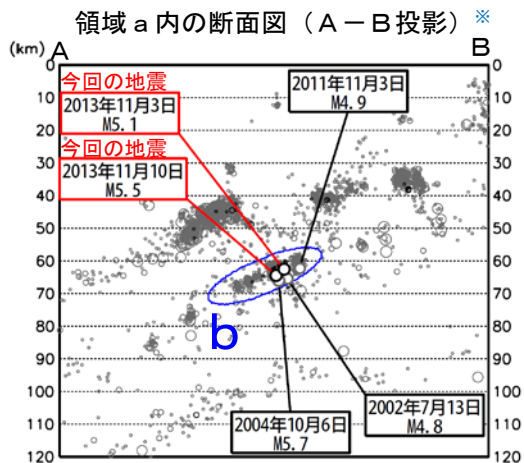


2013年11月3日14時25分に茨城県南部の深さ63kmで $M 5.1$ の地震(最大震度4)が発生した。また、10日07時37分には、この地震とほぼ同じ場所の深さ64kmで $M 5.5$ の地震(最大震度5弱)が発生した。

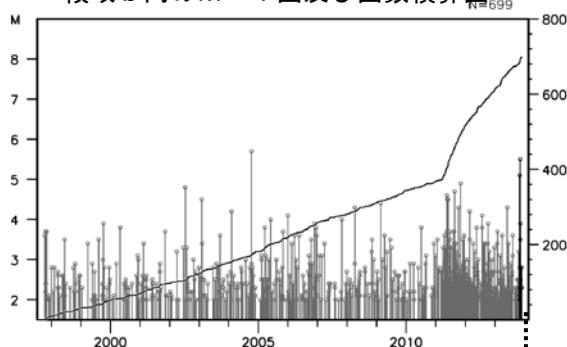
これらの地震は、ともに発震機構が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 4.0$ 以上の地震がしばしば発生しており、2004年10月6日には、 $M 5.7$ の地震(最大震度5弱)が発生し、負傷者4人、水道管破裂などの被害を生じている(被害は総務省消防庁による)。また、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっている。

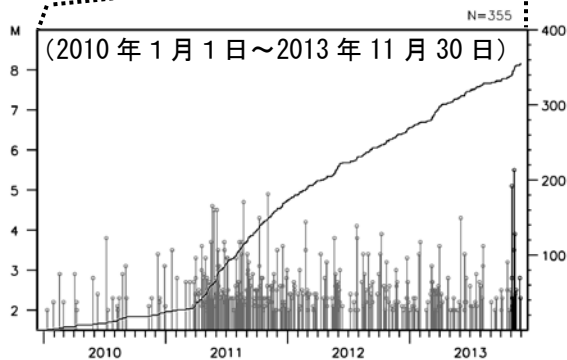
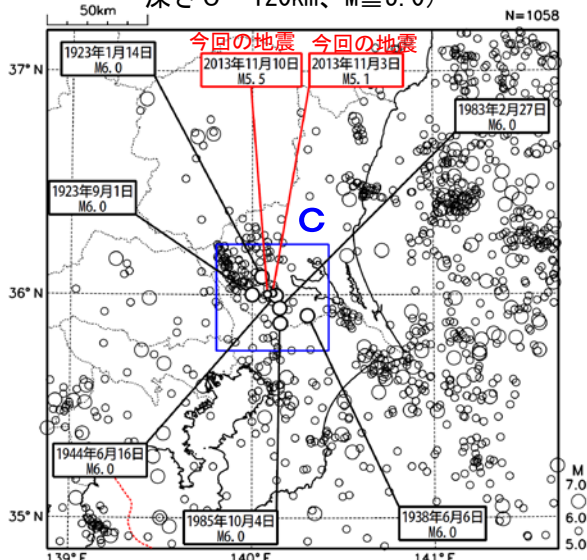
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。



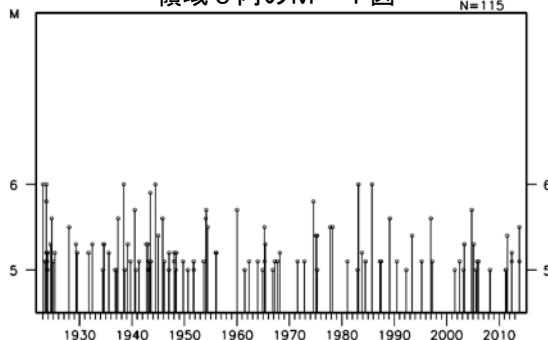
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1923年1月1日～2013年11月30日、  
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ )



領域c内のM-T図



※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。